

1 学期終業式 訓話

先日サッカー・ワールドカップがドイツ優勝で終了しましたが、決勝トーナメントに出場した国は、一人一人の選手の身体的能力が非常に高く、ものの考え方も柔軟で、状況に応じて瞬時に攻撃できるチームでした。その中で優勝したドイツは、さすがだと思います。

ところで、現在はグローバル化社会と言われます、世界中が同時に繋がり、すぐに様々な状況に対応していかなければなりません。世界の人を相手に、私たちはこれからどのように対応していけば良いのでしょうか？

3つの面の強さについて考えて欲しいと思います。

まず技術面での強さです。今回のワールドカップでは、それぞれの選手の身体的能力が非常に高く、高温多湿の厳しい環境でも、延長戦も足が止まらない。世界を相手にどのような状況になっても、こういう人たちを相手に働き続けられる学力と体力をつけておく必要があります。

次にメンタル面の強さです。特に不利な状況に追い込まれたときに、メンタル面の強さが問われます。一瞬でもだめだと思えば、筋肉はそれに呼応して動きを変更すると言われていています。家族・友人・学校。いつもの小さな集団ではなく、大きな集団・異なる集団・自分の常識が通用しない集団とぶつかったときに、負けてしまわない精神力をつける必要があります。

最後に個としての強さです。指示されたとおりに動くのではなく、他からのサポートを待たずに、リスクがあっても攻撃した方が良い時もあります。自己判断で行動するには、その結果について責任を持つ必要があります、誰かの所為・何かの所為等他への責任転換はできません。安易な道を選ぶのではなく、自分を信じ困難な道を選ぶ強さが問われています。

高校時代は3年と短いですが、応用力のある学力を身につけ、体力をつけるための活動に励み、人間関係のストレス・受験へのプレッシャーにも打ち勝たねばなりません。しかも自分というプレイヤーを作り、作戦を立てそのプレイヤーを自在に動かす監督も自分です。技術面・メンタル面そして個人としての強さを身につけ、4年後次のワールドカップをどこでどう見るか、それを考えて、明日からの夏休み、作戦を立て、それを修正しながら毎日を磨いてください